宗我坐宗我都比古神社の拝殿＝橿原市で

蘇我氏の始祖を祭る

宗我坐宗我都比古神社（橿原市）

（住所）橿原市曽我町1196
（祭神）宗我都比古大神、宗我都比売大神
（神官）蘇我氏の子孫
（交通）近鉄真菅駅から南西すぐ
（拝観）境内自由
（駐車場）あり（無料）
（電話）0744・22・6058

飛鳥時代に活躍した豪族、蘇我氏の始祖を祭る宗我坐宗我都比古神社（橿原市）は、蘇我氏の本拠地として有力な曽我町に鎮座します。この周辺の古名は「蘇我」だったとも伝わります。

社伝によると、大和朝廷初期に活躍した武内宿禰の第3子、石川宿禰が大阪河内から移り、姓を蘇我と名乗ったとされます。推古天皇（在位592～628年）の時代に大臣の蘇我馬子が社殿を造営し、石川宿禰夫妻を祭ったのが神社の起源とされ、祭神は石川宿禰夫妻の宗我都比古大神と宗我都比売大神です。南東約1・5キロの橿原市小綱町には馬子の孫、入鹿を祭る「入鹿神社」もあり、「蘇我氏ゆかりの2社」として知られています。

645年の乙巳の変で入鹿が殺害され、父蝦夷も自殺し、蘇我氏の本宗家は滅亡しました。しかし、分家はその後も要職に就き、のちに宗我（蘇我）姓を名乗り、現在、子孫が神官を務めます。

また、祭祀組織として一族は「宗我座」を、地域住民は「神町座」「宮座」「宮元座」を作り、今も秋祭り（10月中旬）の祭事の一部を担います。祈年祭（御田祭）は2月中旬、御例祭は10月6日に行われ、本神社は地元から「曽我ンさん」と呼ばれ、親しまれています。

（奈良まほろばソムリエの会会員　田村基樹）